

市場の動向を見極めながら 常に新事業に挑戦

新橋駅からほど近い銀座7丁目に事務所を構える(株)エヌ・ケイ・リミテッド。マンションデベロッパー専門のコンサルティング会社として、市場の動向や立地に適した企画提案を提供してきた。新規事業を試みながらも、企画コンサルティング事業を中心とした、ぶれない経営を貫いてきた社長の海老根さんに、同社の経営とライフワークについて聞いた。



海老根 宏さん

(株)エヌ・ケイ・リミテッド 代表取締役

●スポーツは真剣勝負

白い空手着をまとって精悍な姿で練習に励む海老根さん。空手歴15年、三段の腕前だ。現在は師範として子供達の指導にあたっている。

「試合」を「死合い」と呼んで、真剣勝負は殺し合うくらいの気迫が必要だという。普段の柔らかな表情とは別人のような、気迫に満ちた顔つきである。

体を動かすことがとにかく好き。ゴルフは月に3~4回グリーンに出る。若い頃は仕事の付き合い程度だったが、現在はゴルフの面白さに魅了され、「難しさが面白い」とシングルスコアを目指す。

大学時代はスキー部に所属し、冬は各地のゲレンデで滑走した。現在も毎冬、スキーを楽しんでいる。他にも野球、水泳、ジョギングなど、多くのスポーツで体を動かす。スポーツで体を動かすことが、ライフワークになっている。

●軸はぶれずに新たな試み

同社の開業は1962年(昭和37年)。先代が茨城県水戸市で不動産会社を設立した。海老根さんが上京して新宿御苑に事務所を構えたのが1985年(昭和60年)。マンションデベロッパーの企画・コンサルティングに携わり、創業50年を迎えた。

一方で新しい取り組みにも挑戦し続けている。IT企業や商社、旅行会社

など異業種と組んで、新事業の拡大を試みた。まだ不動産会社のIT化が普及していなかった時代に、いち早くコンピューターを導入し、業界向けの管理ソフトを自ら開発。今では当たり前のことだが、コンピューターで管理を行う会社が無かった時代に、真っ先にIT化を図った。

「こうした新しい取り組みに挑戦したが、マンションの企画・コンサルティングという軸はぶれないように心掛けていました」。新規事業を展開するも、軸足のぶれないのがポリシーである。

●複合的ビジネスを求めて

近年、同社が力を入れているのが、「デフレコンビニプロジェクト」と名付けたコンビニエンスストアなどを絡めた複合的なコラボした取り組みだ。1階部分に店舗を誘致したマンション事業の業績を伸ばしている。同事業の需要は今後もしばらく続くと見込んでいる。

「立地の選定が難しいが、地方都市のガソリンスタンド跡地などを利用した案件が、順調に伸びてきています」。コンビニ以外にも、複合的なビジネスを模索

中だ。

●人的交流で新たなビジネス

最近の不動産証券化市場について、物件が不足しており、開発が必要だという。

「バブル崩壊後の処理物件が溢れていた時期が第一段階。その後、リーマンショック後に一度沈静化したが、現在、供給商品は不足状態。市場を活性化させるためには、第二段階としての新たな商品が必要だと考えます」。

常に市場動向に目を配り、自社に適したビジネスの創出に専心してきた。また、先代からの付き合いも多く、ビジネスの大切なパートナーだ。

同社の次期ビジネスは現在模索中だが、新たな展開が期待される。



空手(全日本礼和流柳心館空手道連盟)の師範として稽古を付ける(千葉県浦安市の体育館で)

